

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：西柴保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：倉橋 涼子	定員（利用人数）：60名
所在地：〒236-0017 横浜市金沢区西柴3-31-1	
TEL：045-782-5818	
ホームページ：http://sanno-heiseikai.jp/nishishibawp/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2011年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 山王平成会	
職員数	常勤職員：22名 非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称）：名 看護師：1名
	保育士：20名 管理栄養士：1名
	子育て支援員：2名 調理師：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0歳児室 設備：調理室
	居室：1歳児室 設備：調乳室
	居室：2歳児室 設備：地域子育て支援スペース
	居室：3歳児室 設備：職員室兼保健室
	居室：4歳児室 設備：休憩室
	居室：5歳児室 設備：更衣室
	設備：乳児トイレ
	設備：幼児トイレ
	設備：園庭

③理念・基本方針

<法人理念>

社会福祉法人山王平成会の運営する西柴保育園は、子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域との連携を図り子どもの発達を促進します。

<基本方針>

1. 家庭や地域社会と心を通わせ、積極的・意図的に交流および協力しあい、「共に育つ、育てる」の関係を構築します。
2. 子どもが家庭と保育園という異なる場所でその1日を安心して生活できるように二つの生活領域を連動・維持させます。
3. 愛されている・受け入れられているという心地良さを感じながら、仲間と共に生きる力の基礎となる、生活する力・遊ぶ力・考える力・楽しむ力を身につけます。
4. 家庭や地域社会からの保育（子育て）や園全般に関する要望・意見・相談はあたたかく受け止めわかりやすく対応し、より良い保育のための研鑽に努力するとともに社会

責務を果たします。

5. 保育のための研鑽に努力するとともに社会貢献を果たします。

6. 職員は、笑顔で愛情深く、向上心にあふれ、楽しくて元気いっぱい、夢いっぱいのこども大好き、保育大好きの間像を目指します。

<園目標>

- のびのび元気に育つ子ども
- 楽しくいっぱい遊べる子ども
- みんな仲良しやさしい子ども

<保育姿勢>

1. 子どもが安全、安心して生活できる保育
2. 信頼関係を基盤にし、子どもが自分らしさを出して、のびのびと楽しく過ごせる保育
3. いろいろな体験、経験を通して興味関心が広がり、表現する喜びを味わえる保育
4. 人との関わりを通して、自分の大切さと共に、友だちの大切さに気づく保育
5. 子育ての喜びを保護者と共有していく

④施設・事業所の特徴的な取組

<西柴保育園の特徴的な取り組み>

- 法人研修アンガーマネジメント研修
- コロナ禍に於ける学びの継続「保育のデザイン研究所」によるeラーニングシステム導入
- ドキュメンテーションによる同僚実践保育の理解
- ICT化導入による保育を語りあえる体制づくりへのとりくみ

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年05月10日（契約日） ～ 2023年03月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

⑥総評

【西柴保育園の概要】

●西柴保育園は、平成23年4月に横浜市立の保育園から社会福祉法人山王平成会（以下、法人という）が移管を受け、民営の保育園としてスタートした園です。法人は秋田県を本拠地とし、現在、秋田県に2園、横浜は3園と小規模保育事業A型の「阿久和キッズ」を加え、計6園の保育園を展開しています。また、法人本部に横浜統括と秋田統括を設置し、各事務長を配して運営に当たっています。法人の保育方針として、四季折々の自然に触れる機会を大切にし、解放感を味わえるよう水・砂・泥等に十分に触れ、楽しむ場を大切にした保育を行っています。自然に親しみ、子どもたちが「また、明日も保育園に行きたいな」と思える保育園、子どもたちがのびのびと遊び、温かい雰囲気のある保育園、そのような保育園を目指しています。

●西柴保育園は、京浜急行線の金沢文庫駅から徒歩1km程離れた丘の上の静かな戸建ての住宅地の中に位置しています。周囲は、東に小柴漁港・八景島シーパラダイスがあり、南は海の公園と鎌倉時代の史跡である称名寺・金沢文庫に隣接しています。また、近くの西柴住宅団地入口周辺のソメイヨシノの桜並木は新金沢八景ともされており、四季折々に風情を醸しています。西柴保育園は、駅からも歩ける範囲ですが、金沢文庫駅から徒歩10分程度です。

スを利用するとバス停から5分程度のところにあります。閑静な住宅地の中にある園舎は平成31年1月より新園舎になり、新園舎は木造平屋建てのアットホームな保育園です。園舎前（園庭）には公園があり、周辺にも多数公園が点在し自然が残され、子育てにやさしい環境です。保育室は無理な区切りを避け、オープンな作りとなっており、障害があったり集団に馴染みにくい子どもに対しても自由度があり、開放感溢れる作りとなっています。さらに、一時保育等を含めた地域支援の取り組みとして地域子育て支援スペース（多目的スペース）もあり、地域の子育て支援の拠点としての活躍が期待される保育園です。

◇特長や今後期待される点

1. 【職員の育成 ①園内のミドルリーダーの育成】

法人として、「職員は大事な人財である」という考えに基づき、一人の将来ある大切な職員を、責任を持って採用し、育成・定着してもらうことは園としても、法人としても良い保育を実践していく上では大変重要なことです。特に、人材難の時代に採用した職員に対しては、その先輩職員も含めて、園内の「ミドルリーダー」に育成していく責務があります。法人キャリアアップシートに基づき、法人の研修制度「保育デザイン研究所」のon-line研修（eラーニング）等を活用して継続的に育成し、人間形成の土台が作られる時期の子どもたちと関わる重要性を理解し、心ある、温かい保育を継続的に実践することができる「ミドルリーダー」の育成を、法人及び園の最優先課題として、実践・確立への期待が寄せられます。

2. 【職員の育成 ②アンガーマネジメント】

職員教育のもう一つの側面に、「アンガーマネジメント」の視点を挙げています。「アンガーマネジメント」の究極の目標は、怒りが深刻な問題にならないように上手く制御し、管理することにあります。保育の世界に限らず世の中には「理」に合わない事象が満ち満ちており、怒りは誰しものが持つ自然な感情ですが、問題となる怒りもあります。また、自分の中の「べき」からの解放手段でもあります。園では、アンガーマネジメント研修を導入し、職員が生活、保育に生かせるよう、無駄な怒りから解放し、楽に仕事ができるよう、衝動、思考、行動等の側面から怒りの感情のコントロールを学び、自己肯定感を高め、上手に付き合っていく為の心理トレーニング・技術を身に付けるよう取り組んでいます。

3. 【木育活動】

西柴保育園の園舎は、木造の木の温もりに溢れた園舎です。木の持つやさしさの「気」があり、玩具においてもプラスチックと木の玩具には違いがあります。生きていた木には無機質な素材に無い「気」が確かに感じられます。法人本部のある秋田県の廃材や、神奈川県のある廃材、間伐材を利用して工作や、木にこだわった手づくり玩具の制作、地域・保護者に協力を得て、木を介在した小さい規模でのワークショップ等を取り入れ、近隣の子育て世代の方々にも園の取り組みを知ってもらう機会を設けています。園では、少子化が進む中、この園に子どもを通わせたいと思える場所作り、園ならではの取り組みに力を入れています。

4. 【ICT化導入と早期推進について】

ICT化導入と早期推進について、必至な取り組みですが、全てがICT化では中々省力化は進みません。項目を絞って効果的に進める必要があります。例えば、保護者への周知に関する問題では、先ず知らせた足跡を残すことが重要であり、聞いていない、知らないということがないことが大切であり、ICT化により改善も期待できます。半面、現在の記

録システムをそのままICT化すれば、それは職員の業務増となることが懸念されます。しかし、今の手書きの記録が全て必要か検討し、例えばデータの蓄積で事足りるのであれば、ICT化は極めて効率的です。効果的な活用の一考を期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：西柴保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

これまでの評価のプロセスから、より現場の職員と管理職が具体的な項目を丁寧に確認し合える機会となった。

調査者の方々との項目ごとの聞き取り作業では、管理職としての自分自身の役割や課題を振り返ることができ、さらに気づいた点については優先順位を付け、明確に今後の保育サービスに生かしていけるようにといった前向きな気持ちになれた。とても楽しく学びの多い受審であった。

調査者の方々の温かいお人柄に救われ癒されました。親身になって自園の取り組みを理解していただき、ありがとうございました。心より感謝しています。

第三者評価を受審し自己評価を行い、とても良かったです。

<評価後取り組んだ事として>

1. 全体的な計画から各月齢の保育の見直し
2. 環境によって子どもの過ごしやすさを考える
3. 子どもの心の本音を理解しながらも危険やルール、社会の学びを何度も話し合い、継続して保育を語り合っていくこと。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり